

平成31年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力フェスタ2018「わたしたちがSDGsです」
企画実施概要: 相談ブースを設置し、国際協力活動について広く市民の方に知ってもらい参加する機会を市民に提供する。国内外にかかわらず社会的な課題を一緒に考える機会をもつことを目的として行った。

参加人数は、NGOや一般を含めて約1,100名

2 出張者氏名 池田 誠

3 依頼元／主催団体名 北海道NGOネットワーク協議会

4 実施予定日時 平成30年12月15日（土） 11:00～17:00

5 実施場所 会場名 札幌駅前地下歩行空間（北海道札幌市）

6 実施報告 国際協力に関心のある人が多く集まり、活動の悩みや運営についての相談にのることができた。また、地下歩道ということで、一般の人たちも何が行われているのかと、立ち寄る人も多く、NGO活動のPRにもつながった。また、統一テーマをSDGsにしたことで、企業や自治体の人たちも関心をもって相談に訪れた。特に、北海道の参加者ということもあり、環境からSDGs、そして国際協力への話が進むこともあり、NGO活動を広める有意義な時間となった。

7 写真



相談の様子



イベントの様子

以上

令和元年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力フェスタ2019

企画実施概要: ①企画内容
相談ブース設置

②目的 国際協力活動について広く市民の方に知ってもらい参加する機会を市民に提供する。国内外にかかわらず社会的な課題を一緒に考える機会をもつことを目的とする

③対象者および参加予定人数
NGO関係者及び一般市民 約1000人

2 出張者氏名 池田 誠

3 依頼元／主催団体名 北海道NGOネットワーク協議会

4 実施予定日時 令和元年12月21日 (土) 11:00～17:00

5 実施場所 会場名 札幌駅前地下歩行空間 (北3条交差点広場)

6 実施報告 SDGsや国際協力に関心のある人が多く集まり、活動の悩みや運営についての相談にのることができた。今年は、地下歩道の正面にブースを設置したため、一般の人でも立ち寄ることが多く、NGO活動のPRにもつながった。また、昨年に引き続き、統一テーマをSDGsにしたことで、企業や自治体の人たちも関心をもって相談に訪れた。特に、北海道の参加者ということもあり、環境からSDGs、そして国際協力への話が進むこともあり、NGO活動を広める有意義な時間となった。

7 写真



相談の様子

(写真1)



フェスタ全体の様子

(写真2)

以上

令和2年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際理解実践フォーラム2019

企画実施概要: * 実施内容
国際理解実践フォーラム2019では、国際協力、多文化共生、国際理解教育など全8つの分科会に分かれている。弊団体は本フォーラムの事務局、実行委員、当日の分科会運営を担当している。
①第2分科会「豊かな社会」ってどんな社会？～SDGsの視点から考える～(担当:阿部)
・ワークショップを通じて豊かな社会とはどんな社会なのか考える。
・SDGsに関する説明
・NGO相談員事業、弊団体が行なっているODA資金を活用した事業の紹介
②第6分科会:「国際理解教育で広げる『夢』の地図」～キャリア教育とSDGsへのアプローチ～(担当:小笠原)
・NGO相談員事業の紹介
・児童、生徒が視野を広げて夢を考えるために、どのような年間単元構想が有効か考える
②対象者および参加人数
第2分科会:30名、第6分科会:32名

2 出張者氏名 阿部 真理子、小笠原 直子

3 依頼元/主催団体名 主催:公益財団法人山形県国際交流協会
独立行政法人国際協力機構東北センター(JICA東北)
認定NPO法人IVY

4 実施予定日時 令和1年12月15日 (日) 9:00-17:00

5 実施場所 霞城セントラル(山形県山形市)
(宮城県仙台市)

6 実施報告 【第2分科会「豊かな社会」ってどんな社会？～SDGsの視点から考える～(担当:阿部)】
・SDGsが作られた過程をワークショップを通じて体験でき、勉強になりました。
・実際の社会とSDGsを結びつけて考えることができて良かった。
・高校生だけの話し合いでは思いつかないような、知識や考えを持った大人の人たちと一緒に話し合いが出来てよかった。
【第6分科会「国際理解教育で広げる『夢』の地図」～キャリア教育とSDGsへのアプローチ～(担当:小笠原)】
・Vision、Mission、Goalの目標の立て方は、教育の現場だけでなく自分の高校生活にも役立つと感じた。
・キャリア教育とSDGsを結びつけることの大切さや意義が分かった。

7 写真

	
「豊かな社会」とはどんな社会か、写真を活用して考える参加者(第2分科会)	子どもたちの夢の考え方を広げるために、どのような年間単元構想を組めばよいか考える(第6分科会)

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力キャリアフェア2019

企画実施概要: ①企画内容:国際協力分野でのキャリアを考えている来場者に対し、求められる人材や職種、待遇面や情報入手の方法など、NGOへの就職を目指す上で必要とされる知識や心構えなどについて情報提供および、相談対応を実施する。

②目的:国際協力分野でのキャリアに関する具体的な情報の提供および相談を実施することで、国際協力およびNGOに対する理解促進をはかる。

③対象:国際協力業界での就職を考えている大学生、大学院生、社会人、(全体)約500名、(ブース対応)約50名。

2 出張者氏名 山田直樹

3 依頼元/主催団体名 株式会社国際開発ジャーナル社

4 実施予定日時 令和元年12月7日 (土) 13:00~19:00

5 実施場所 JICA地球ひろば(東京都新宿区谷本村町10-5)

6 実施報告 <参加者の声>

福祉の仕事をしていて、NGOにも関心があるが、どういったスキルがあれば働くことができるか?NGOに求められるスキルを職種毎に紹介しつつ、NGOにあまり関わった事がないのであれば、関わる事から始めることをアドバイスした。

・NGOのパートナーシップに関して修士論文を書いており、NGO間の連携事例とうまくいかなかった事例を知りたい。対応として事例等も紹介した。

・NGOに就職するには、留学経験が必要なのか?どんなキャリア形成が望ましいか?将来的にやりたいことに向けて、NGOやその他の選択肢も含めて考えることをアドバイスした。

7 写真



ブース対応①(ブース前には行列ができた)

(写真1)



ブース対応②(2名体制で途切れることなく相談をおこなった)

(写真2)

以上

令和2年1月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力カレッジ2019

企画実施概要: ①実施内容:「ボランティア・インターンマッチング展」にて相談対応および国際協力分野でボランティアやインターンをしたい人と国際協力団体とのマッチングを行った。

②対象者および参加人数: 学生、社会人など約80名

2 出張者氏名 堀川絵美

3 依頼元／主催団体名 JICA中部(事務局:名古屋NGOセンター)

4 実施予定日時 令和1年12月21日(土) 10:00 ~ 16:00

5 実施場所 JICA中部なごや地球ひろば(住所:愛知県名古屋市)

6 実施報告
<相談内容(一部)>
・スタディツアーについて詳細を知りたい。
・仕事をしながら在日外国人支援に関わりたい。NGOを紹介してほしい。
・NGOや国際協力の分野で働きたい。キャリア形成の方法について知りたい。
<参加者の感想>
・国際協力には多様な関わり方があると知ることができた。
・関心分野を一つにしぼらず、多様な話を聞くことで視野が広がった。

7 写真



会場の様子



ブース出展の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 茨木市立東奈良小学校での国際協力と文化に関する講演

企画実施概要： ①実施内容
アジアの国の村の様子、課題についての講演。またアジアの衣食住、学校生活、文化や生活様式を紹介をした上で、子ども達からの質疑応答の時間を設けた。

②対象者および参加人数
茨木市立東奈良小学校の4年生と5年生(計90名程度)

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名 茨木市立東奈良小学校

4 実施予定日時 令和1年12月13日 (金) 10:50 ~ 12:20

5 実施場所 茨木市立東奈良小学校(大阪府茨木市東奈良2丁目5-36)

6 実施報告 東奈良小学校で小学校4-5年生を対象に国際理解(アジアの国の村・地域の生活と課題)をテーマに授業2コマ分の講演を行った。内容としては、まずNGO相談員制度の説明を行った。その後、当会のインドネシアとネパール研修生に映像・スライドを交えて質問しながら、研修生の村の生活の様子を聞き出した。研修生たちが地域が現在抱えている課題を明らかにし、それらの課題を克服するために日本に来て実地研修を受けて、その学びを自身の村に持ち帰り、地域の人たちと協働しながら、地域を良くしていくというPHDの国際協力のシステムを説明した。

講演後には子どもたちから研修生やその生活に関する質問を受け付けた。普段馴染みのない東南アジアの村の話聞いたことで、衣食住の分野での比較など、子どもたちも興味・関心を持ち、積極的に質問する姿がうかがえた。特に物資や経済支援ではなく、人づくりを通じて地域を良くしていくという部分に驚いている子どもは多く、今回の講演で、この部分が草の根の国際理解・協力への意識変化に繋がったと考える。

7 写真



NGO相談員についての説明を行った。

(写真1)



研修生出身国の村の様子(衣食住含む)や課題について説明した。

(写真2)

以上

2019年12月13日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 羽曳野市立西浦小学校でのSDGsについての講演

企画実施概要： ①実施内容
上記公立小学校の6年生対象の「総合」の授業にて、SDGsについての講演を行った。

②対象者および参加人数
西浦小学校 6年生 76名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 羽曳野市立西浦小学校

4 実施予定日時 令和元年12月13日（金） 10:30～12:00

5 実施場所 羽曳野市立西浦小学校
(大阪府羽曳野市西浦1050)

6 実施報告 西浦小学校は総合の時間にSDGsを推進しており、今回は現場の話
を聞きたいということで出張サービスを実施した。当初はゴール17の
パートナーシップを想定していたが、協議の結果、小学生向けにより
わかりやすいゴール3の保健、ゴール4教育について話をおこなった。

具体的にはゴール3に関しては乳幼児死亡率、ゴール4については
小学校への就学率の国際比較を元に現在の課題を解説した。進め方
としては生徒に投げかけながら対話型を進めた。

生徒からの感想は現在集計中とのことだが、担当教員の方からの
反応は「すごくわかりやすかった。子ども達も思ったよりもメモをとって
いて驚いた」とのことであった。最後に担当教員の方が「あなたたちは
地球を救える最後の世代」というメッセージを発して終了したが、今後
SDGs達成のための担い手となることを期待したい。

7 写真



NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ

教室の様子。羽曳野市立西浦小学校6年生、約76名にSDGsについて説明中

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年12月19日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** ワンワールドフェスティバルfor Youth 2019におけるNGO相談員ブース出展
- 企画実施概要:** ①実施内容
ワンワールドフェスティバルfor Youth 2019において、関西に事務所を有する4団体によるNGO相談員ブースを出展し、来場者からの相談に対応する。また、来場者にチラシを配布し、NGO相談員制度の広報を
②対象者および参加人数
関西の高校生を中心に延べ約6,000名、相談対応は49名

坂西卓郎(PHD協会)、松岡秀記(関西NGO協議会)、西坂幸(アイキャン)

2 出張者氏名

北垣健太(日本国際民間協力会)
※出張者が大豊盛重から北垣に変更しました。

3 依頼元/主催団体名 (特活)関西NGO協議会/ワンフェスユース2019事務局

4 実施予定日時 令和元年12月15日 (日) 10:00~16:00

5 実施場所 大阪YMCA (大阪市西区土佐堀1-5-6)

6 実施報告

高校生を中心としたワンワールドフェスティバルFor YouthにNICCO、関西NGO協議会、アイキャン、PHD協会の4団体でNGO相談員ブースを出展し、総計49人、62件の相談対応を行った。主な相談者は高校生であり、次いで教員、NGO、保護者の方であった。

同イベントは今年で6年目を迎え、ワークショップ等のプログラムが11、ブース出展が50、高校生の海外フィールド活動報告が4、他に助成プログラムやワークショップなども開催され、活気溢れるイベントであった。注目度も年々増しており、当日は朝日新聞が開催報告の号外を3,000部作成し、会場を中心に配布された。相談も「将来、国際協力に関わりたい」という前向きな内容も多く、相談員ブースでの対応を通じて、国際協力の担い手育成に貢献できたと思われる。

7 写真

	
NGO相談員ブースにて相談対応をしている様子。多くの学生からの相談があった。	朝日新聞が当日発行した号外。3,000部が配布された。

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年1月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：2019年度 第3回国際協力推進員中国ブロック連絡会議

企画実施概要：
①実施内容
JICA国際協力推進員との情報共有および、第二回NGO相談員連絡会議の報告
②対象者および参加人数
中国ブロック(5県)国際協力推進員および、各関係者、計 8 名

2 出張者氏名 山上正道

3 依頼元／主催団体名 JICA中国

4 実施予定日時 令和元年12月3日(火) 15:00 ~ 18:45

5 実施場所 会場名 JICA中国センター(東広島市鏡山3-3-1)

6 実施報告 JICA国際協力推進員中国ブロック連絡会議にて、各国際協力推進員、および関係JICA職員にNGO相談員のPRと今後の連携について協議を行った。また、11月21日-22日に開催された第2回NGO相談員連絡会議の情報を共有した。

7 写真



JICA国際協力推進員連絡会議で第二回NGO相談員連絡会議の報告をするNGO相談員

(写真1)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 「地球のステージ益田」での相談対応
- 企画実施概要： ①実施内容
「団体ブース」において開場時間通して1名体制で来場者からの国際協力やODA、NGOに関する質問・相談に対応した。
- ②対応者数
ブース来場者 計48名
- 2 出張者氏名 清水信子
- 3 依頼元／主催団体名 2019年地球のステージ益田実行委員会/島根県青年海外協力協会
- 4 実施日時 令和1年12月7日 (土) 13:00～18:00
- 5 実施場所 いわみ芸術劇場ラントワ小ホール (住所：島根県益田市有明町5番15号)

6 実施報告

ブースでは、NGO相談員ポスターを張り、展示したネパールの水がめに実際に触れる体験を通して、NGOによる国際協力活動、開発支援活動の実情を説明した。また、途上国の水への課題をご説明し、SDG'sについての関心を促した。

島根県立大学の学生が来場者の6割を占めていた。島根県立大学の学生がNGO相談員チラシ30部を学内に設置するために受け取ってくださった。

「地球のステージ」とは、NPO法人地球のステージが実施する、ライブ音楽と大画面の映像、スライドと語りを組み合わせた、全く新しいタイプの非営利コンサートステージである。当ステージの活動映像として東ティモールでの事業が流されたため、弊団体の東ティモールでの活動についての質問が5割をしめた。

7 写真



(写真1)



(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、
下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

総社市立総社小学校の参観日において、西日本豪雨被災地支援活動を題材に国際協力、海外国内の災害緊急支援等の実情と課題について講義をする。

企画実施概要:

①実施内容
小学校6学年生とその保護者に対して、災害緊急支援の現場の状況などの話をすることにより、教育現場の国際化の助けとする。

(簡潔に記載ください)

②対象者および参加人数
小学校6学年全生徒(130名)と保護者(約50名)

2 出張者氏名

田邊圭

3 依頼元/主催団体名

総社市立総社小学校 松尾(教務主任)

4 実施日時

令和1年12月18日 (水) 13:55~14:45

5 実施場所

総社市立総社小学校
(住所:岡山県総社市総社3丁目13-1)

6 実施報告

総社小学校6年生約130名に対しPWJの国内外での緊急支援事業の紹介や、NGOの活動について、世界で起こっている災害について紹介をし、また、学校の希望により防災に繋がるよう自然災害について、世界で起こっていることや子どもたちの住む総社ではどのような災害が発生するのか等について授業を行った。

自然災害については、世界で起こっている自然災害の種類の説明や、被災者・犠牲者数をグラフで示した。また、災害がより身近なものとして考えてもらうことができるよう、総社小学校を中心とした洪水ハザードマップ、地震のハザードマップを見せ、自分たちの住んでいる場所が被災地になったらどのような状況になりうるのかを子ども達に質問をしながら話をした。

授業の後半では、YESとNOのどちらかを選ぶ防災クイズを実施した。防災でよく用いられるクロスロードを参考とし、実際に災害が起こった際に起こりうる、どちらかの答えを出さなければならないという場面を想定した問題を2問出題した。どちらを選択しても間違いではなく、答えの選択に悩むため、子どもたちは様々な意見を発表し、また意見の違う生徒同士も議論をした。「すぐに避難しなければならないが、犬を避難所に連れていくか?」という問題では、子ども達からは「アレルギーの人もいるかもしれないので、かわいそうだが家に置いていく」「犬も大事な家族だから避難所に連れていく」など両方の意見に分かれた。2問だけではあったが、自然災害について深く考えてもらうことができ、さらにNGOの活動についても知ってもらうことができた。

7 写真

	
出張講座を実施するPWJスタッフ	防災クイズに答える生徒

(写真1)

(写真2)

以上